

京都市交響楽団（京響）ビジョンの構成イメージ

ビジョンの構成	内容・方向性（案）	ビジョン検討のための視点・キーワード		参考資料	
<p>京響の目指す姿</p> <p>恒久的理念として，市，財団，楽団員，市民が共有する憲章</p>	<p>市民にとっての価値 京都市にとっての政策的意義</p> <hr/> <p>楽団としての理想</p>	政策意義	<p>1</p> <p>オーケストラ（京響）の公益性，市民的価値 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・地域性/・国際性 ・創造性/・時代性 ・適応性/・安定性 	1-1	京都市における京響の位置付け
<p>実現のための戦略</p> <p>「京響の目指す姿」を実現するための戦略について，方針・方向性を示すものとして記載</p>	<p>「市民に愛されるオーケストラ」の実現に向けた方針</p> <hr/> <p>「世界に誇れるオーケストラ」の実現に向けた方針</p> <hr/> <p>経営の安定化，環境変化に適応しつづける</p> <hr/> <p>楽団員のあり方</p>	事業	<p>2</p> <p>定期演奏会，特別公演等の方針 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演，アンサンブルのあり方 ・世界に向けた情報発信 ・時代が求める斬新なプログラムの継続的な開発 	2-1	京響の演奏会の開催実績
		3	<p>市民還元事業のあり方 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・地域連携プログラム開発 ・教育的機能の充実（ジュニオケ，芸大連携等） 	3-1	京響が実施している市民還元事業
		4	<p>コアなファンづくり 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会の拡充 ・コミュニティづくり 	4-1	京響友の会
		5	<p>新たなファン・支持者の獲得 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・主婦（主夫）層・子供等 ・市内学生への訴求 ・主要他都市公演 ・サイレントパトロン拡大 ・効果的な情報発信（メディア活用・戦略的提携等） ・外国人観光客 	5-1	クラシック音楽鑑賞の行動者率等
		6	<p>持続的な収支構造の確立に向けた収入増加策 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チケット料金のあり方 ・事業収入の増加 ・外部資金調達手法の多様化 ・事務局体制の強化 ・安定した経営基盤 	6-1	チケット単価
		7	<p>楽団員のあり方 【キーワード・視点（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽団員のスキルアップ ・楽団員間のコミュニケーションの活性化 ・高いプロ意識・組織運営の確立 ・楽団員の個性の発揮，話題性のプロデュース 	資料4	楽団員アンケート（意見の概要）
				1-2	京響の歴史
				1-3	京響の認知度，イメージ
				1-4	オーケストラの公共性・現代的意義に関する国内での調査・研究
				1-5	他のオーケストラのビジョン
				資料4	楽団員アンケート（意見の概要）
				2-2	他のオーケストラの公演回数
				2-3	京響の評価
				2-4	音楽の方針の考え方
				2-5	京響の歴代指揮者
				2-6	京響の海外展開等の取組（インバウンド対応含む）
				2-7	他のオーケストラの海外公演の実施状況
				3-2	他のオーケストラが実施している市民還元事業
				4-2	来場者の要望
				4-3	他のオーケストラにおける取組例（オケ・楽団員との関係性の強化）
				5-2	京響の他都市展開
				5-3	他のオーケストラにおける他都市展開例
				5-4	京響の広報・コミュニケーション戦略
				5-5	他のオーケストラの広報・コミュニケーション戦略
				5-6	外国人客数（京都市交響楽団英語サイトからの申込者数）
				6-2	京響の寄付金，協賛金，助成金の獲得状況
				6-3	京響特会の決算推移
				6-4	他のオーケストラとの収入比較
				6-5	クラウドファンディングの活用
				6-6	他のオーケストラにおける支援者確保の例
				6-7	京響の営業活動状況
				6-8	現在の事務局体制
				6-9	その他のデータ（市予算等）

京響が半世紀超をかけて培ってきたこと・継承しつづけること

▶▶▶ 新たな時代を見据えて京響が目指しつづけること

必要性

- 改めて京響の必要性を自問する

地域性

- 市民に愛される
- 市民の誇りでありつづける
- 市民のライフスタイルに応じた多様な接点・共感がある
- 市民の情操を豊かにする
- 京都の音楽教育を牽引する
- 共同体体験の提供, コミュニティ形成への提案がある

国際性

- 「国際文化観光都市・世界文化自由都市－京都」の「顔」となる

創造性

- 交響楽団そのものを「新しい文化財」として育て上げる
- 京都の文化芸術都市の創生のハブになる
- 京都の文化資源と京響の有機的な連動を目指す
- 音楽芸術を通じた文化芸術都市の創生に重要な役割を果たす

時代性

- 時代を超えて音楽芸術のもつ価値を市民と分かち合う, 市民のかけがえのない財産でありつづける
- 京都の教育界等の重要な資源となる
- 時代のニーズにあったスタイルを追求する

適応性

安定性

- 社会の一員として存在している自覚
- 社会の要請に適応した組織運営を確立する

京響

「市民に愛されるオーケストラ」

「経営の安定化」
「環境変化に適応しつづける」

「世界に誇れるオーケストラ」

事業の視点

公演・アンサンブルのあり方

事業収入の増加

世界に向けた情報発信

音楽芸術の教育的機能の充実
(市立芸大との連携, ジュニオケ等)

時代が求める斬新な
プログラムの継続的な開発

全体の事業収支バランス

主要他都市公演 (招聘)

教育・地域連携
プログラムの開発

海外公演

顧客・支持者の視点

効果的な情報発信 (SNSなど)
地域メディア等との戦略的提携

子ども, 主婦 (主夫) 層・高齢者等の新たな鑑賞

京響友の会の拡充
コアなファンのコミュニティづくり

市内学生・留学生への訴求

チケット料金のあり方

外国人観光客
インバウンド向け販売手法の確立

サイレントパトロン*の拡大
*鑑賞しなくとも価値を認める支持者

楽団・楽団員の視点

安定的な経営基盤

高いプロ意識・組織運営の確立

外部資金調達手法の多様化

国内外オケとの連携

楽団員間のコミュニケーションの活性化

事務局体制の強化

楽団員のスキルアップ

楽団員の個性の発揮・話題性のプロデュース